

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ			
題名・副題	植物ジュニアレンジャー活動(2) ～外来種はほんとにわるい?～			
月日・時間	2019年5月18日(土) 10:00～13:30			
開催場所	県立保土ヶ谷公園(横浜市保土ヶ谷区花見台)			
部会・講師名	自然環境部会 吉岡嗣二郎	参加数	11名	講師数 7名
写真				
	植物の外来種について詳しく解説		公園内の外来植物、在来種などを観察	
				
	公園の軟式野球場の芝生管理の話をお聞き		観察したことをメモにまとめて発表	
成果解説	<p>第2回目の「植物ジュニアレンジャーの活動」教室も、県立保土ヶ谷公園で開催しました。テーマは「植物の外来種」。</p> <p>今回は、参加した子どもたちが少なかったため、保護者の方も参加して「外来種の問題」を考えました。始めに、植物の外来種について詳しく説明し、外来植物の調べ方などを解説しました。調査方法は、条件が違う2つのエリアをロープで囲み、その中の植物をメジャーも使いながら詳しく調べました。この公園内には脅威となる「特定外来種(生態系や農業水産に被害を及ぼすもの)」は見られませんが、海外が原産地の植物は数多く(40%)見受けられ、子どもたちや保護者の方も驚きの声が聞かれました。特に野生化した園芸種(ヒルザキツキミソウ)や北米原産種(ハルジオン)が多く確認、その中でも在来種のヘビイチゴが人気を集めました。講師の指導で子どもたちも、外来種、在来種を見分けてメモにまとめました。シェアリングネイチャーは、保土ヶ谷野球場の芝生の管理の話をお聞きしました。最後に、子どもたちは観察して感じたことを発表しました。</p>			